

助産師のみなさん

Let's try it 

アドバンス助産師に
チャレンジしてみませんか

95 / 336

アドバンス助産師 / 県内就業助産師数

公益社団法人 青森県看護協会

アドバンス助産師とは、
「自律して助産ケアを提供できる助産師」として
CLoCMiPレベルⅢを認証された助産師のこと
(日本助産評価機構が認証)



CLoCMiP

日本看護協会が開発し公表した、全国規模で共有できる「助産実践能力習熟段階(クリニカルラダー)；Clinical Ladder of Competencies for Midwifery Practice、CLoCMiP」のこと。

CLoCMiPレベルⅢ認証制度

助産実践能力が一定水準に達していることを客観的に評価する仕組みで CLoCMiP のレベルⅢに至っていることを審査し認証する制度。認証機関は日本助産評価機構。

**1 妊産婦・新生児と
その家族にとって**

専門的でより質の高い助産
ケアが受けられます。

**認 証 の
意 義**

4 医療機関にとって

助産ケアの質が保証され、
組織が提供する周産期医
療機能を果たすことにつ
ながります。

2 産科医にとって

自律して助産ケアを提供できる助産
師であることが分かり、チーム医療
において、適切な役割分担が可能に
なります。

3 助産師自身にとって

自律した助産実践ができます。
目標達成に向けた、自分の成長が明
確になりモチベーションの維持や向
上につながります。

POINT



日本中どこで就業しても、標準化された評価指標に基づいて評価・認定された助産師であると誰もがその能力を認知できる！

POINT



第7次医療計画の「疾病・事業及び在宅医療に係る医療体制について」の人材の指標の一つにアドバンス助産師数が明記！

POINT



2018年診療報酬改定では乳腺炎重症化予防・指導の際にはケアの実施者としてアドバンス助産師であることが明記！

POINT



2020年診療報酬改定では、総合入院体制加算の要件項目に院内助産・助産師外来が明記！

アドバンス助産師になるためには

※詳細は、日本助産評価機構アドバンス助産師プラットフォームでご確認ください



<p>必須研修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①分娩期の胎児心拍数陣痛図 (CTG) ②妊産褥婦のフィジカルアセスメント：脳神経 ③妊産褥婦のフィジカルアセスメント：呼吸／循環 ④妊娠と糖尿病 ⑤新生児のフィジカルアセスメント ⑥臨床薬理 (妊娠と薬) ⑦医療安全と助産記録 ⑧妊娠期の栄養 ⑨メンタルヘルス ⑩母体の感染 ⑪緊急時の対応 ⑫助産師と倫理 ⑬後輩指導・助産師教育 ⑭新生児蘇生法 (NCP) Bコース以上 ⑮臨床推論 ⑯災害時対応 ⑰臨床病態生理 ⑱授乳支援 ⑲意思決定支援 (演習含む) ⑳WHC指定項目から選択 (1) ㉑WHC指定項目から選択 (2) <div style="margin-left: 20px;"> <p>WHC提供のための基盤能力 女性に対する暴力予防の支援 多様な性の支援 不妊・不育の悩みをもつ女性の支援</p> </div>	 <p>新生児蘇生法Sコース</p>  <p>助産師の質向上研修</p> 
<p>実施例数</p>	<p>分娩介助例数：100例以上 (70例以上は経膈分娩)</p> <p>新生児の健康診査：100例以上 妊娠期の健康診査：200例以上 産褥期の健康診査：200例以上 プライマリーケース：20例以上</p> <p>集団指導 (小集団指導)：実践・指導ができる 母親学級・両親学級：実践・指導ができる 緊急時の対応 (BLS、多量出血等)：実践・指導ができる</p>	<p>助産師出向事業により 経験値UP!</p>  
<p>学術集会</p>	<p>以下の指定学術集会のいずれかに1回参加</p> <ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 33%;">• 日本助産学会 <li style="width: 33%;">• 日本看護学会 <li style="width: 33%;">• 日本母乳哺育学会 <li style="width: 33%;">• 日本母性衛生学会 <li style="width: 33%;">• 日本助産師学会 <li style="width: 33%;">• 日本周産期メンタルヘルス学会 <li style="width: 33%;">• 都道府県母性衛生学会 <li style="width: 33%;">• 日本周産期・新生児医学会 <li style="width: 33%;">• 国際助産師連盟 (ICM) <li style="width: 33%;">• 日本母性看護学会 <li style="width: 33%;">• 日本新生児看護学会 <li style="width: 33%;">• 日本糖尿病・妊娠学会 <li style="width: 33%;">• 日本母子看護学会 	
<p>総合評価</p>	<p>CLoCMiレベルⅢ総合評価B (以上)</p>	

青森県で働くアドバンス助産師のご紹介

アドバンス助産師として

八戸市立市民病院 アドバンス助産師 山田 円

私は、CLoCMiPレベルⅢ認証制度が始まった2015年にアドバンス助産師になりました。当時は、仙台市の助産院に勤務し、ハイリスク妊産褥婦のケアからは離れ、健康で正常な妊産婦が正常なまま経過するための助産ケアを学んでいました。しかし、助産院での分娩は、異常を見逃さない、搬送のタイミングを見誤らないことが強く求められます。正常のみではなくハイリスクや異常の学びを続ける必要があり、アドバンス助産師の認証につながりました。市の嘱託で新生児訪問も経験しました。地域の助産師として、出産施設を退院してからの母親たちをサポートすることは難しくも



やりがいがあり、母親たちに教えてもらうことがたくさんありました。2020年に再認証を受け、今は地域周産期母子医療センターで、院内助産・助産師外来を担当しています。

助産師として、丁寧な対話をこころがけ、健康的に妊娠期を過ごし、安全な分娩をする、安心して育児ができるようサポートすることをめざしています。勤務助産師の働く環境は、出生数の減少・混合病棟の増加と変化し続けていますが、助産師の職能を発揮できる場所を守り、すべての妊産褥婦が助産師のケアで安心できるよう仲間の助産師と共に努めていきたいと思っています。

青森県では現在 **95人**がアドバンス助産師として認証されています。

あなたもアドバンス助産師にチャレンジしてみませんか。

アドバンス助産師は、周産期医療における院内助産や助産師外来で専門性を発揮し、妊産婦やその家族を中心に適切なケアを提供し続ける専門職として、大いに活躍が期待されています。

詳細は

[アドバンス助産師プラットフォーム](#)



で検索

